

各 位

2023年9月22日  
イカロス出版株式会社

魅力的な街の四季折々の日常を体感できる  
『季節で綴るフィレンツェ 202  
世界でいちばん美しい街の愛おしい毎日、とっておきの場所』発売

インプレスグループで航空分野などのメディア事業を手掛けるイカロス出版株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山手章弘）は、2023年9月22日に奥村千穂 著、向井真理子 写真『季節で綴るフィレンツェ 202 世界でいちばん美しい街の愛おしい毎日、とっておきの場所』を発売いたします。



イタリア中部のトスカーナ州の州都フィレンツェは、石畳が続く古い街並みが残り、街全体がひとつの美術館と表される美しい街です。

この地に暮らして20年以上になるふたりが、四季折々のシーンを中心に、フィレンツェ、トスカーナ州の日常を202のエッセイと写真でお届けします。季節ごとに移りゆく街角の風景、祝祭日にまつわる行事、街を彩る花々、旬の食材や郷土菓子、地元客が集まる店、じっくり味わってほしい見どころ——。さらに、イタリアの何気ない日常などについても触れています。

短い旅行では知ることができない、普段着姿の愛おしいイタリア、フィレンツェを満喫できる一冊です。ページをめくりながら、一年を通してこの街を愛する“フィレンツェ人”とともに暮らしている気分を味わうことができます。





サン・マルティノの夏 no.103

夏が過ぎて、百日草の盛り誇るこの時期に、特に賑わいが感じられることがあります。日本でいう「小正月」にあたるもので、Fiorini di San Martino (サン・マルティノの祭) と呼ばれます。フランスの輸入サン・マルティノ (聖マルティヌス) が犠牲で聖者に讃えらるる自らのマントを振り払いで受け取ったところ、突然、夏があらわれ共に賑わったという伝説から名づけられました。イタリアでは11月は月が最も明るく輝く月です。スターバックスの発祥地にも、うらやまの山を舞い降りた聖者がいると、たまたま噂れたいがあるも「それ！今年より」とばかりはみん、一帯は11月まで収穫祭を行います。貴族は巫女様でワンドが少なく、妃の足音が「おは11月、窓のガラスを通してフィレンツェを飾られた民衆にとって、サン・マルティノの祭、はラッキーな祭りなのです。

中央市場はフィレンツェ人の胃袋 no.105

肉、魚、チーズ、パン、野菜、果物、フィレンツェで食料を探し、大抵何でも揃っているのが中央市場、大抵平日も、まんごんなど貴族のスーパーでは手に入りにくい野菜も見つかるので愛もよく利用しています。買物の間かいた肉類では、ビスケット、アツァ、フィレンツェ (おつまみ、おつまみ) を買いに来た客のために、貴族が街の奥から大抵の肉を誇らしげに運んでくる様子、巨大な魚で竹でスターバックスの肉を売る姿の肉店も面白い。肉店、魚店が賑わって来ます。非常に有名な肉店があるので、肉の入ったおつまみ、フィレンツェに食べ歩き、フィレンツェの肉店を巡ることも、街で肉店をまわたり、肉店を覗いてみることも、スーパーでは買えない肉と人のコミュニケーションがあるのが市場での面白いもの、醍醐味です。ここは、豪華で美味で状況があるフィレンツェ人の胃袋のような場所です。

【Autunno 秋】

- no. 103 街のシンボルは百合？ アイリス？
- no. 104 秋の訪れはポルチーニ茸とともに
- no. 105 チブレオ・カフェ
- no. 106 歴史的価値と住みやすさのバランス
- no. 107 門限に間に合わなかったら
- no. 108 掘り出しものの価値は人それぞれ
- no. 109 イノシシなフィレンツェ人 ほか



花のある暮らしとフィレンツェ no.109

歴の上ではたまたま、でも毎週本場 (フィレンツェ) の中央市場の前のアーケードで買われる花市場では、ひと厚く物の影を成る人が、専断に花の顔を飾っています。フィレンツェ街の多くの建物には花の飾りつけがあり、表通りからは目立ちませんが、そこに飾られたバルコニーに、人々にハッピーな笑顔の種を撒き散らすのです。花の街で買われた花の運命でも大きな飾りつけのなかに入ると、花の街からは想像できないような豪華な花壇が広がっていて、花壇の飾りつけは想像のあふれるように美しく育てられた花の種、花壇など飾りつけが広がります。

「花の街」を飾ることがありフィレンツェ、ローマ時代には Fiorini (花) には Fiorini といふ名前で呼ばれていました。花の (花) という言葉から派生しているとか、ローマ時代に花の街の友だちアローを花の街 Fiorini (花) にこの街が生かされたといふ説があります。実際には、Fiorini (花) という意味があり、花が花が買えることを通じてつけられたそうです。それでも、フィレンツェの花の街はフィレンツェの花の街と名前が一致しますが、花の街の花がフィレンツェの花の街と名前が一致するように、この花の街のイメージは広く広がっています。もうすぐで花の街には、今年も同じや自給地でも花の街が広がります。

【Inverno 冬】

- no. 153 プレゼント探しはお早めに
- no. 154 国民的リキュール、アペロール
- no. 155 昔懐かしいフィアスコ・ボトル
- no. 156 詩人ダンテとフィレンツェ
- no. 157 誰もがピノッキオ
- no. 158 異国情緒漂うクリスマスマーケット
- no. 159 豆からこだわる1杯のコーヒー ほか

## ●著者紹介

文・奥村千穂（おくむら ちほ）

現地アパートの紹介サイト LA CASA MIA でフィレンツェの滞在型の旅を提案している。ブログ「フィレンツェ田舎生活便り 2」でイタリア暮らしについて綴る。著書に旅のヒント BOOK『美しいフィレンツェとトスカーナの小さな街へ』（イカロス出版刊）がある。

<https://www.lacasamia.jp>

<https://lacasamia2.exblog.jp>

写真・向井真理子（むかい まりこ）

フィレンツェでのアクティビティ、イタリア語学留学、通訳・コーディネートなどのビジネスサポートを行う FIRENZE PLUS を運営。カメラマンとしても活動中。

<https://www.firenzeplus.com>

## ●書籍情報

書 名：季節で綴るフィレンツェ 202 世界でいちばん美しい街の愛おしい毎日、とっておきの場所

著者名：奥村千穂 著 向井真理子 写真

発行所：イカロス出版株式会社

発売日：2023年9月22日

ISBN : 978-4-8022-1343-1

体 裁：四六判・224ページ

定 価：2200円(本体2000円+税10%)

URL : <https://www.ikaros.jp/hintbook/plus/italy-firenze202.html>

【イカロス出版株式会社】 <https://www.ikaros.jp/>

『月刊エアライン』を中心に航空、鉄道、ミリタリー、レスキュー分野で出版活動を展開。さらに旅行、通訳・翻訳、ライフスタイルなどの分野でも多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

イカロス出版株式会社

書籍編集統括部 第1編集部

E-mail : [book1@ikaros.co.jp](mailto:book1@ikaros.co.jp)

URL : <https://www.ikaros.jp/>